

	有識者意見	反映箇所			
		頁	章	節	項目
1	臨海部の土地利用について、現状と今後の展開についての分析が必要である。【徳増委員】	4	1	1	(多様な土地利用と拡散する市街地)
2	GDPのランキング、世界的な金融都市としてのポジショニングなど、経年変化で右肩下がりに落ちており、これらを首都圏の大きな課題として、危機感を持って捉える必要がある。【家田座長、山崎委員】	5 16	1	1 2	(日本経済を牽引する首都圏経済) (1)グローバル化の進展への対応
3	中心市街地の活性化の課題について、人口移動とビジネスアクティビティの両面からの分析が必要である。市街地のスプロールの弊害についての分析が必要である。【家田座長、福本委員】	7	1	1	(商業：集積の地域差、地方部の中心市街地での空洞化)
4	観光振興の課題を的確に把握するには、首都圏にどこの国・地域が訪れているのかといった分析が必要である。【加藤委員】	8	1	1	(観光業：多く存する観光資源)
5	高齢者夫婦の大多数が持ち家に居住する一方、子育て世帯の居住環境は相対的に劣位している。世帯特性に応じた分析があってもよい。【園田委員】	8	1	1	(居住水準・居住環境)
6	大量廃棄の前提となる大量「生産」についても言及すべき。【荻原委員】	11	1	1	(大量消費に伴う廃棄物処理)
7	鉄道の相互直通に起因する遅延などの問題認識が必要。【屋井委員】	12	1	1	(公共交通：世界有数の鉄道ネットワーク)
8	日本の工場でも韓国・釜山へフィードバック輸送している。東京港であってもハブ港としての状況は厳しいという認識が必要である。【福本委員】	13	1	1	(港湾：国際的地位向上が求められている港湾機能)
9	空港サービスの空白地帯である北関東地域を意識した分析が必要である。【家田座長】	13	1	1	(空港：国際的地位向上が求められている空港機能)
10	携帯電話の普及率の人口割でなく、面積割で見ると、救急救命の観点などから重要である。【羽田委員】	14	1	1	(情報通信サービス水準の地域差)
11	国土管理の面からも、コミュニティ、集落の崩壊はかなり重要な問題となっている。【村山委員】	14	1	1	(地縁型コミュニティの弱体化)

有識者意見		反映箇所			
		頁	章	節	項目
12	アジア諸国との航空ネットワーク形成により、国際ビジネスの拠点性を高めていくというストーリーがつかれないか。【山崎委員】	20	2	1	(世界に開かれた国際ビジネス拠点)
13	マクロの産業デザイン、裾野の広い新しい産業の誘致施策を記述すべき。バイオや情報産業は大都市圏でなければ育成できない。【家田座長、徳増委員、山崎委員】	21 25	2	1 2	(日本経済を牽引する成長エンジン) (地域クラスターの育成), (情報ベンチャーの育成), (バイオベンチャーの育成)
14	ボランティアの人口が最も多いのが首都圏であり、その活用方策についての検討が必要である。地域活性化という難題は、官だけでは解決できるものでなく、NPO等民をどう活用していくか、検討していくことが必要である。【家田座長、藤崎委員、馬田委員、望月委員】	23 48	2	1 2	(「新たな公」による地域づくりを推進する圏域) (4)「新たな公」による地域づくり
15	産業立地には人材が必要不可欠で、国内外の優秀な学生の確保を検討すべき。【家田座長、佐々木委員】	24	2	2	(1)イノベーションの創出
16	産業、研究機関が集積する首都圏において、如何にこれらの連携を強化していくべきかを検討すべき。【馬田委員】	25 49	2	2 3	(地域クラスターの育成), (情報ベンチャーの育成), (バイオベンチャーの育成), (量子ビームネットワークの形成による産業利用促進) (1)イノベーション創出プロジェクト
17	北関東自動車道、首都圏大環状軸により、北関東・甲信を製造業の中心的な地域に育てていくという分析ができないか。【結城委員】	25 49	2	2 3	(地域クラスターの育成) (1)イノベーション創出プロジェクト
18	実質的なスーパー中核港湾を実現するためには、東京湾港を一体化して運用していくことが必要である。【家田座長、福本委員】	26	2	2	(太平洋側ゲートウェイ)＜港湾＞
19	首都圏の複数空港政策の目だしができないか。【山崎委員】	26	2	2	(太平洋側ゲートウェイ)＜空港＞
20	国際金融における拠点性を維持するには、羽田を国際化・24時間化すべき。【福本委員、豊島委員】	26 51	2	2 3	(太平洋側ゲートウェイ)＜空港＞ (2)太平洋・日本海ゲートウェイプロジェクト
21	ビジネスジェットとプライベートジェットへの対応を検討していくことが必要である。【豊島委員、山崎委員】	26	2	2	(太平洋側ゲートウェイ)＜空港＞
22	内陸部の工場と臨海部のゲートウェイとどう繋ぐべきか、検討が必要である。【山崎委員】	27 51	2	2 3	(港湾・空港アクセス及び陸上交通網) (2)太平洋・日本海ゲートウェイプロジェクト
23	農業と工業との連携による地域産業の活性化について検討していくことが必要である。【徳増委員】	28	2	2	(農商工連携の促進)

有識者意見		反映箇所			
		頁	章	節	項目
24	10年かけて各地域はどのように変わっていくのか、絵姿を提示できないか。【堤委員】	28	2	2	方針2 人口約4,200万人が暮らしやすく、美しい地域の実現
25	労働人口の減少局面において、託児所の整備等働く女性のための施設整備が重要である。【豊島委員、藻谷委員】	32	2	2	(子育て支援と児童の安全・安心の確保)
		52	3	2	(4) 少子高齢化に適合したすべての人にやさしい地域づくりプロジェクト
26	中古住宅市場やニュータウン再生などの取り組みを国が旗振り役となって先導しないと、郊外の市町村は高齢化の速度に付いていけず、財政的にも破綻してしまう。【江崎委員】	32	2	2	(良好な住宅ストックの形成・活用と長く大切に使う社会の実現)
		34	2	2	(ニュータウン等の再生)
27	健康(医療)の視点が必要である。【鷲谷委員、大久保委員】	34	2	2	(安全・安心な医療体制の構築)
		52	3	2	(4) 少子高齢化に適合したすべての人にやさしい地域づくりプロジェクト
28	文化・芸術の集積状況についての記載を加えるべき。現に、中国・韓国からこれ目当てに人が集まってきている。【鷲谷委員】	35	2	2	(日本の顔づくり)
29	日本風景街道など「景観と地域づくりと観光が一体となった取り組み」による伝統・文化をはじめとする誇りを持てる国土づくりという視点を位置づけるべき。【家田座長、青山委員、宇井委員】	36	2	2	(川や水辺の持つ多様な機能を活かしたかわまちづくり)
		46	2	2	(1) 観光交流の強化
30	地球温暖化によって、風水害被害の増加が懸念されているという認識が必要。温暖化には、緩和策だけでなく適応策の面からの取り組みが重要。【沖委員、鷲谷委員、森口委員】	40	2	2	(地球温暖化に伴う影響への対応)
31	高齢者の集中により、感染症への脆弱性が増すことを取り上げるべき。【鷲谷委員、大久保委員】	41	2	2	(4) 危機管理体制の充実
32	首都圏病ともいえる花粉症の問題への対応策を検討する必要がある。【鷲谷委員】	42	2	2	(森林の整備・保全)
33	地域間交流にエコツーリズムは重要なツールとなっている。【加藤委員】	43	2	2	(水と緑のネットワーク、エコロジカル・ネットワークの形成)
		59	3	4	(15) みんなの尾瀬を みんなで守り みんなで楽しむプロジェクト
34	食糧自給の観点から、閉鎖性内湾における漁業は重要であり、そのためには干潟の再生が不可欠。東京湾は「泳げる」かどうかではなく、水産資源の回復という観点から施策を展開すべき。【佐々木委員】	44	2	2	(閉鎖性水域の再生)＜東京湾の再生＞
35	山から川、海に至るまでの土砂の一体的管理の観点が必要である。【青山委員、池田委員】	44	2	2	(沿岸域の保全)

有識者意見		反映箇所			
		頁	章	節	項目
36	従来の宿屋型発想から泊食分離の形への転換など、地域特性に合わせた地域振興があつてよい。【福本委員】	46	2	2	(1) 観光交流の強化
37	外国人にとって住み、働きやすい環境という視点が必要である。【家田座長、豊島委員】	47	2	2	(3) 多文化共生社会の実現
38	プロジェクトを推進するための、部門別の計画や検討スキームを明記していくべき。【屋井委員】	63	3	5	(22) 北関東多文化共生地域づくりプロジェクト
39	環状道路ネットワークに関するプロジェクトは不可欠。【屋井委員】	49	3		第3章 新しい首都圏の実現に向けた地域の戦略（前文）
40	社会資本整備にあつては、今後50年間のメンテナンスも考慮して、本当に必要か精査していくことが重要である。【沖委員、望月委員】	51	3	2	(3) web(蜘蛛の巣)構造プロジェクト
		66	4	3	3. 「選択と集中」に基づく効率的な施策展開